

学校の様子（人間と社会 チームコンセンサス ワークショップ）

5月17日午後、1学年は、NPO法人「16歳の仕事塾」の「チームコンセンサス ワークショップ」を行いました。

このワークショップは、論理的なよりよい結論「最適解」を導き出すためには、一人ひとり個人で考えるよりもチームで話し合った方がよいということを体験的に学べるワークショップです。

自分の考えや意見をしっかり他人に話し、ディスカッションしながらチームとして一つの方向性を出していきます。班に分かれた生徒たちは、提示された設定をもとに、最適解を話し合います。

〈設定〉

船旅の参加者であったが、トラブルがあり、現在救命ボートに乗っている。救命ボートには、3日分の飲料水と食料のほか、10種類の品物（アイテム）がある。生き延びるために、10個のアイテムのなかから重要度順位付けをする。班として何をを使うか最適解を決める。

生徒たちは、一人一人が選んだアイテムの数と順を見たり、理由を話し合ったり、なかには、盛り上がりすぎ?!という班もありましたが、賑やかにやり取りしながらまとめていきました。

高校生活では、様々な行事が行われます。その際に、全員が全く同じ意見になることはありません。自分の考えは理由を添えて表明しつつ、最適解を見出す。考えの幅が広がり深まりつつ、少数意見も大切に扱う。今回の擬似体験で、その難しさと大切さを感じてくれたらいいなと思います。

